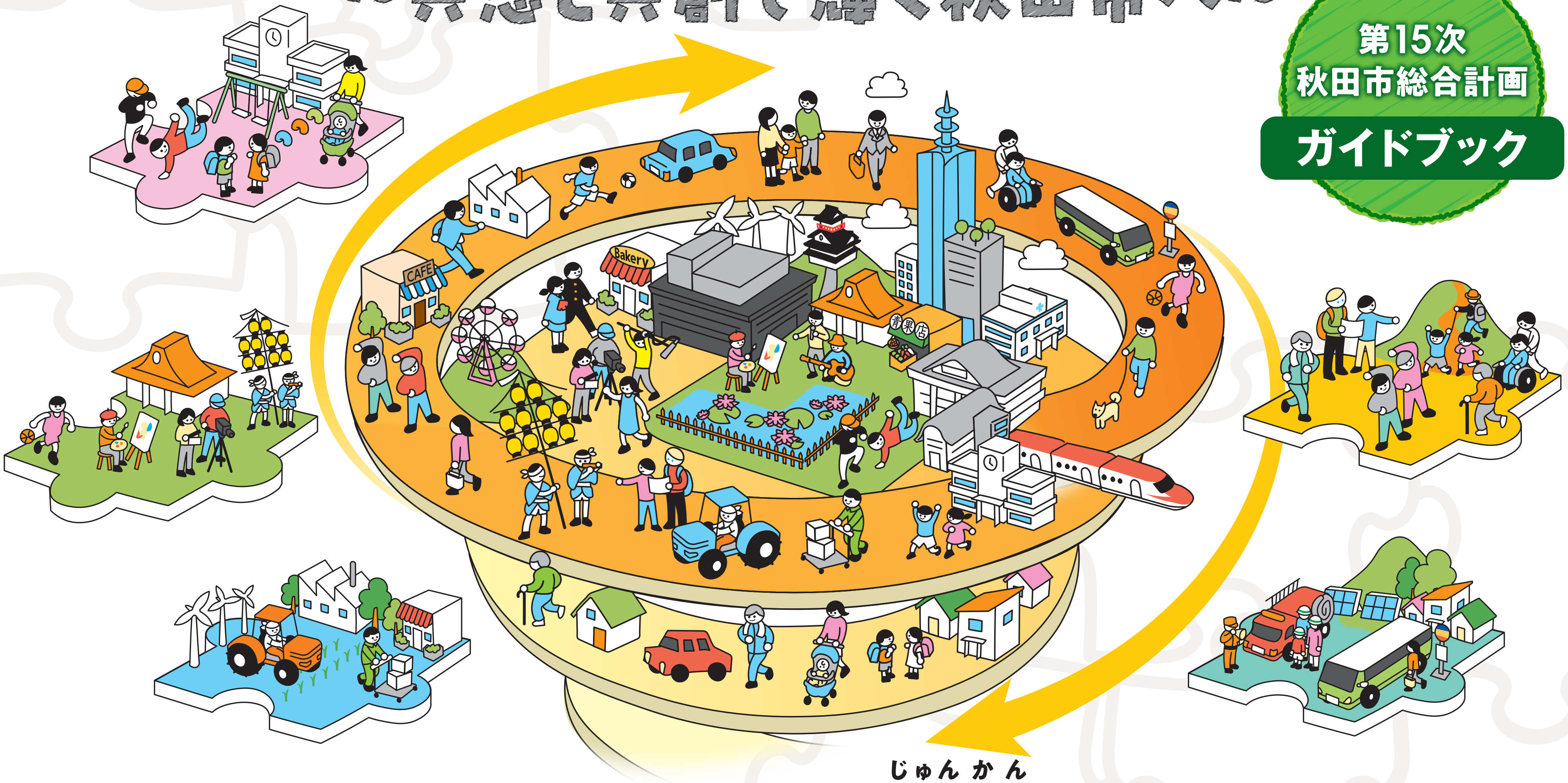
響きあう心躍る人・まち・くらし

～共感と共創で輝く秋田市へ～

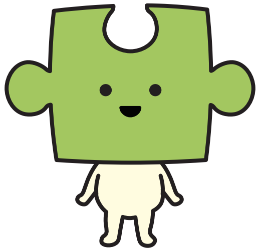
第15次
秋田市総合計画
ガイドブック



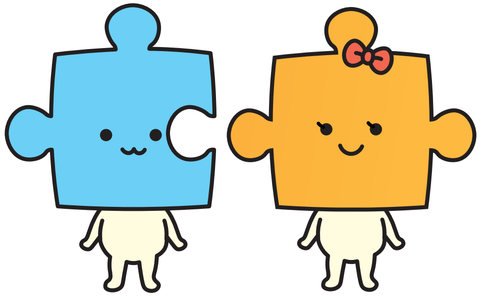
秋田市『プラスの循環』プラン

THE 15TH, AKITA CITY GENERAL PLAN

あなたは、
秋田市でどんな暮らしを
したいですか？
あなたは、
どんな秋田市になれば
居心地がよいですか？
あなたは、
秋田市でどんな人と
出会いたいですか？
あなたは、
どんな秋田市になれば
わくわくしますか？
あなたは、
未来のこどもたちに
どんな秋田市を
残したいですか？



はじめに



わたしたち一人ひとりが、
住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちを、みんなで一緒につくっていく。
そのための計画が、秋田市『プラスの循環』プラン（第15次秋田市総合計画）です。
一人ひとりの「やってみよう」が、
パズルのピースのように集まり、つながり、わくわくする毎日が続いていく。
このガイドブックは、これからのまちや暮らしについて考え、語り合い、
思いを「共有」するための入口となるものです。
「共有」は「共感」を生み、「共創」へとつながっていきます。
わたしたち一人ひとりの「やってみよう」のピースをつなぎ、
「共感」と「共創」で輝く秋田市を一緒に創造しましょう。

THE 15TH, AKITA CITY GENERAL PLAN

みんなでつくる!

響きあう 心躍る 毎日

【基本理念】(目指すべき秋田市の姿)

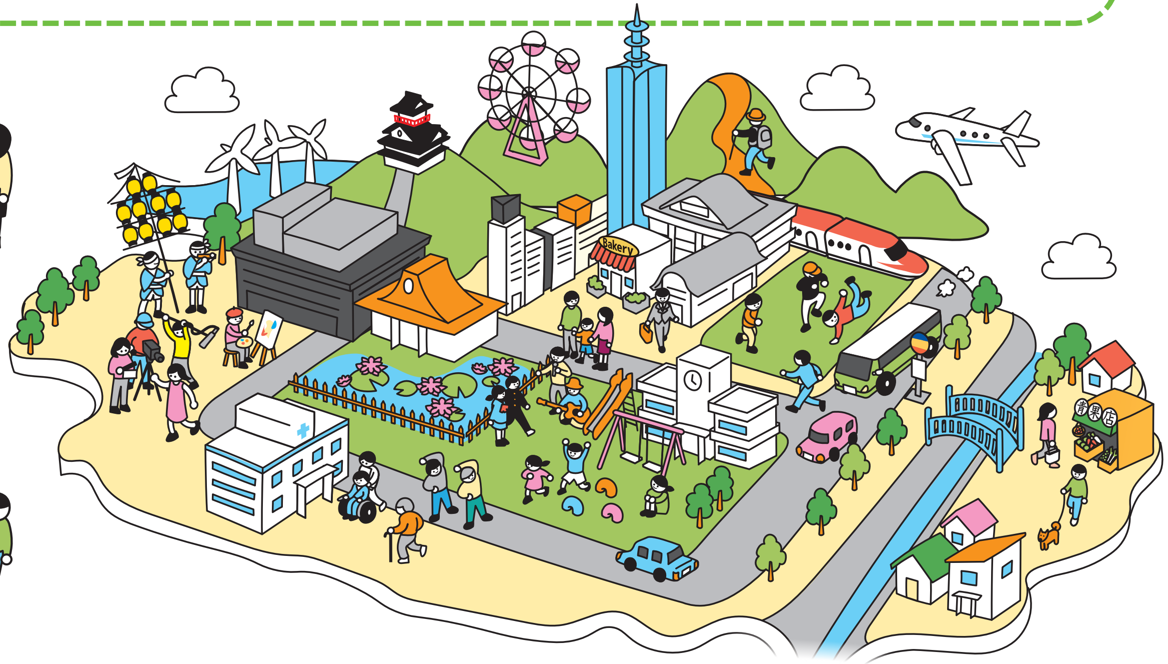
響(ひび)きあう 心(こころ)躍(おど)る 人(ひと)・まち・くらし

~共感(きょうかん)と共創(きょうそう)で輝(かがや)く秋田市へ~

人
年齢や性別などを問わず、
自分らしくいきいきと輝いている

まち
にぎわいにあふれ、
多彩な魅力に満ちている

くらし
四季の移り変わりのように
彩り豊かで、心うるおう



そのために必要なこと

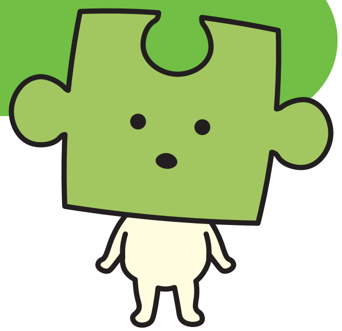
「共感(きょうかん)」と「共創(きょうそう)」によるまちづくり

共感 は、多様性と寛容性から生まれ、個性や能力を発揮できる仲間と喜びを分かちあうことで、新たな価値を共に創造する共創へとつながります。

共創 は、日々の変化や明日への期待、まちへの愛着をもたらし、一人ひとりがいきいきと暮らし、まちを次の世代に引き継ぐための原動力となります。

市と市民、
市民と市民が対話を大切にしながら、
「共感(きょうかん)」と「共創(きょうそう)」により、
『人』・『まち』・『くらし』が
いたるところで響(ひび)きあい、心を躍(おど)らせ、
輝(かがや)きあう毎日の実現を目指します。

Q 基本理念はどうやってできたの？



A いろんな人の秋田市への思いなどを聞いてつくりました。

若い世代が描く未来の秋田市像

- ドキドキ・ワクワクを自慢したくなるまち
- 都会・田舎、人
それぞれに心地よさがあるまち
- 新しいことに挑戦することを
ためらわないまち

これらの思いから、
基本理念やその考え方にある
「心躍(こころおど)る」「共感(きょうかん)と共創(きょうそう)」「多様性(たようせい)と寛容性(かんようせい)」
といったキーワードが生まれました。

Q どんなまちをつくっていくの？

A みんなが住み続けたい、帰ってきたい、遊びにきたいと思える魅力と活気あるまちをつくり、人が集まる秋田市を目指します。

秋田市の現状・課題

秋田市から出て暮らす若者（15歳から24歳）が多くなっている

こどもが減っている

【市民の皆様からいただいた主な声】

大学生・民間企業の社員・移住者等の若者によるワークショップ、市民と市長の意見交換会などで様々な思いをうかがいました

- 安定した仕事、やりがいのある仕事の選択肢が少ない
- 公共交通が充実してほしい
- 地域コミュニティの担い手が減っている
- SNSによる魅力発信などが少ない

など

目指すべき将来人口

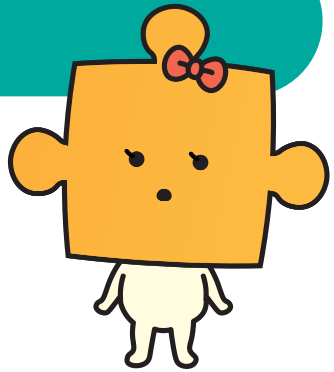
秋田市人口ビジョン
〈令和8年3月改訂〉

2040年（令和22年）に **26.1万人**

過去（令和2年）	30.8万人	
今（令和7年）	29.3万人	
目標（令和22年）	26.1万人	
推計（令和22年）	25.2万人	

※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年12月推計）」より作成

Q どうやって目指すまちをつくるの？



A 秋田市の強みをいかして、将来にわたり
元気で持続可能なまちづくりを進めるためにつくったのが、
秋田市『プラスの循環』プラン（第15次秋田市総合計画）です。

秋田市の強み

都会と田舎の
それぞれの良さがある

陸・海・空の交通が
そろっている

6つの大学など
多くの高等教育機関があり
学生がたくさんいる

中心市街地をはじめ
多くの文化施設がある

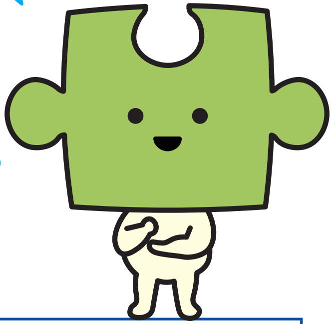
洋上風力発電の
トップランナー

本市を拠点とする
トップスポーツチームが多い

など

Q 秋田市「プラスの循環（じゅんかん）」プランって、どんな計画？

A 秋田市が目指す姿を実現するために、市が行うすべての取組の基本となるものです。

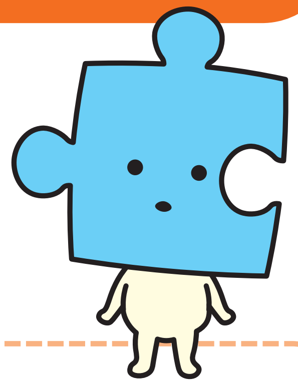


総合計画の体系 〈計画期間〉令和8年度～12年度（5か年度）

基本構想 5年間の目標とそれを実現するための基本的な考え方	基本理念	目指すべき本市の姿
	将来都市像	基本理念のもとに目指す大局的な方向性
	政　策	将来都市像実現に向けた政策
	施　策	政策に基づく取組の方向性
	プラスの循環戦略	将来都市像別の体系にとらわれずに、一体的かつ集中的に経営資源を投入して取り組む分野
	重点プログラム	各戦略の実現のための方策
	総合計画推進のために（計画推進の基本姿勢）	総合計画の推進にあたって、市職員が共通して意識していくべき基本姿勢
推進計画 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略と統合（具体的な取組）	取組・事業	施策の方針に基づく個別の事務事業
	戦略事業	重点プログラムに基づくねらい達成のための個別の事務事業
	数値目標・KPI	各戦略・各重点プログラムにおける目標を数値化した指標

Q これまでの計画から新しくなったところは？

A これまでの計画を引き継ぎつつ、市民の皆様と市で一緒に、まちづくりをさらに前に進めます。



主なポイントは

基本理念（目指すべき本市の姿）

を15年ぶりに変えました。

施策に

大学等や大学生等との連携

を加えました。

重点的に取り組む分野を

プラスの循環戦略

とし、新たな要素として、次の重点プログラムを設定しました。

- 「新エネルギー関連産業の集積・振興」
- 「シティプロモーションの推進と関係人口の拡大」
- 「移住・定住の促進」
- 「若者の希望と挑戦を応援するまちの推進」
- 「災害に強いまちづくりの推進」

市職員が共通して意識していく

計画推進の基本姿勢

として、次のとおり設定しました。

- 行財政のさらなる効率化を図ります
- デジタル化を推進します
- 対話によるまちづくりを推進します
- 市民協働と絆づくりを推進します
- シビックプライド※（まちへの誇りと当事者意識）の醸成を図ります
- 伝える、伝わる広報・PRを推進します

※『シビックプライド／CivicPride』は、株式会社読売広告社の登録商標です。

5つの将来都市像

基本理念のもとに目指す大局的な方向性として、5つの将来都市像を設定しています。

将来都市像 1 豊かで活力に満ちたまち

産業振興により地域経済を活性化し、しごととにぎわいを創出することにより都市としての求心力を高め、多様な交流や連携を構築し、県都として周辺圏域の発展を牽引する「豊かで活力に満ちたまち」を目指します。

1 商工業・サービス業の振興

- 企業立地・事業拡大の推進
- 企業の活性化と起業の促進
- 地元就職の促進と賃金水準の向上
- 貿易と物流の拡大

2 農林水産業の振興

- 農林水産業経営の確立と食料の安定供給
- 戦略的で多様なアグリビジネスの促進
- 農山村地域の活性化と森林整備の推進

3 交流人口の拡大と関係人口の創出、移住促進

- シティプロモーションの推進
- 観光振興の推進
- にぎわいの創出
- スポーツの力をいかした地域活性化
- 関係人口の創出・拡大
- 移住の促進

将来都市像 2 多様な主体でつくる元気なまち

すべての市民が主人公として尊重され、それぞれの役割や居場所で、個性や能力を発揮し、充実した生涯を送ることができるよう、地域、NPO、企業、行政等が関わり、支えあう「多様な主体でつくる元気なまち」を目指します。

1 主体性と多様性を尊重するまちづくり

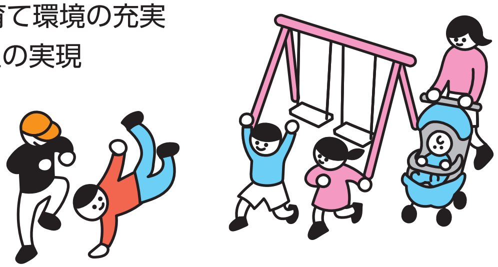
- 市民による地域づくりの推進
- 市民活動の促進
- 男女共生社会の実現

2 地域福祉の充実

- 地域福祉の推進
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実

3 次代を担うこども・若者の成長支援

- こども・子育て環境の充実
- 若者の希望の実現



将来都市像 3 人と文化をはぐくむ誇れるまち

文化をいかした魅力あるまちづくりを進め、生涯にわたり文化・スポーツ活動に取り組める環境の中で、誰もが目標に向かって成長し、希望に満ちた生活を送ることができる「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を目指します。

1 文化の振興

- 文化遺産の保存と活用
- 市民文化活動の推進
- 生涯スポーツの推進
- 国際交流の推進

2 教育の充実・大学等との連携推進

- 社会教育の充実
- 学校教育の充実
- 高等教育の充実
- 大学等や大学生等との連携

将来都市像 4 健康で安全安心に暮らせるまち

生活の危険を回避できる十分な体制を整備し、市民が健やかな心身を保ちながら、「健康で安全安心に暮らせるまち」を目指します。

1 安全な生活の実現

- 危機管理体制の確立
- 災害や雪に強いまちの確立
- 防犯・交通安全体制の確立

2 安心して暮らせる毎日の実現

- 健全な消費・生活衛生環境の確保
- 食育の推進
- 保健・医療体制の充実
- 消防・救急体制の充実
- 社会保障制度の適正な運営

将来都市像 5 緑あふれる持続可能なまち

利便性の高い都市基盤を整備しながら、本市の住みよい環境の保全と次世代へ継承することができるコンパクトシティの形成による「緑あふれる持続可能なまち」を目指します。

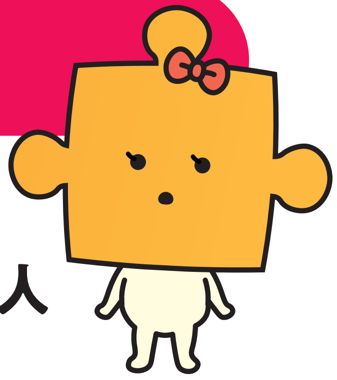
1 環境との調和

- 環境保全の推進
- 循環型社会の推進
- 脱炭素社会の推進

2 都市基盤の確立

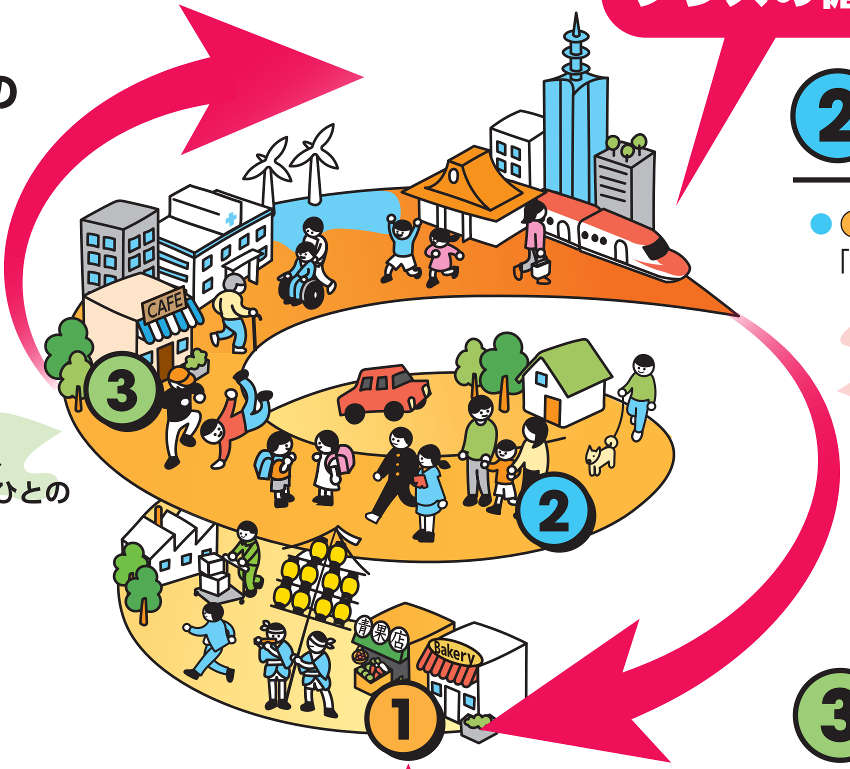
- 秩序ある都市環境の形成
- 住宅環境の整備
- 上下水道サービスの提供
- 安全安心な道路環境の整備
- 公共交通の確保・維持

Q 今回の計画の特徴は？



A 「プラスの循環」（①から③の好循環）を生み出し、秋田市に住むために引っ越して来る人＞秋田市外へ引っ越していく人（人口の社会増への転換）を目指します。

プラスの循環＝持続的な発展



循環の起点

① 民間事業者が「稼ぐ」ための環境づくりとサポート

- 企業誘致の促進、市内企業の事業拡大等の産業活性化
- 交流人口、関係人口、移住者の増などによる外貨獲得

【戦略1】
地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる

【戦略2】
まちの魅力を高め、秋田市への新しいひとの流れをつくる

② 人・暮らし・未来への投資

- ①により民間と行政がそれぞれ得た原資を「ひと」と「まち」に再投資し、まち全体の価値を向上

【戦略3】
こども・若者の希望が叶うまちをつくる

【戦略4】
誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる

【戦略5】
災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる

③ まち全体の価値の高まりとさらなる民間投資の促進、持続的な発展

- ①と②を経て、さらなる民間投資を呼び込むことで、より大きな①と②の循環に発展

どうしたら「プラスの循環(じゅんかん)」は生まれるの？

まずは民間事業者が「稼ぐ」ための
環境づくりとサポートから始めて、
そこで「稼いだ」原資を、
こどもや若者、
医療、福祉、防災・減災など、
「ひと」や「まち」に再投資し、
まち全体の価値を高め、
さらなる民間投資を呼び込む
好循環(こうじゅんかん)へとつなげます。

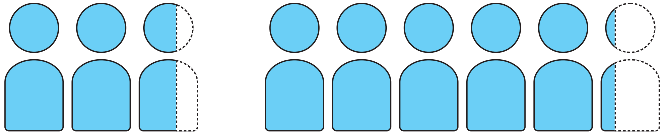
戦略1 地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる

戦略が目指すもの

- 企業活動の活性化と新たな経済活動の創出
- しごとの創出と多様な人材の育成・活躍
- 儲かる一次産業・食品加工の実現と担い手の育成・確保

戦略の数値目標

市の施策による就業機会確保数



〈令和2～6年度〉**2,568人** → 〈令和8～12年度〉**5,050人**

重点プログラム（実現のための方策）

Ⅰ 地域の強みをいかした産業の育成・創出

Ⅱ 新エネルギー関連産業の集積・振興

Ⅲ 生産拡大と経営安定化による持続可能な農業の実現

Ⅳ 地元への就業機会の拡大と人材確保・育成支援

戦略に盛り込まれる主なキーワード

＃企業誘致　＃起業　＃地元企業　＃貿易　＃洋上風力発電　＃農業　＃若者・女性・高齢者等の仕事の選択肢

取り組む分野を、5つの戦略として分類しています。

戦略2 まちの魅力を高め、秋田市への新しいひとの流れをつくる

戦略が目指すもの

- 交流人口・関係人口・移住者の増加による経済活動の活性化と多様なつながりの創出
- 地域資源をいかした人が集まるまちの実現
- 文化の創造・発展・継承による心豊かでうるおいのあるまちの実現

戦略の数値目標

市外への転出超過数

	〈令和6年〉	〈令和12年〉
転入者ー転出者	－558人	＋1人

重点プログラム（実現のための方策）

Ⅰ 地域資源の磨き上げと戦略的PRによる観光振興の推進

Ⅱ 芸術文化を核としたまちづくりと中心市街地活性化

Ⅲ トップスポーツをいかした活気あるまちづくり

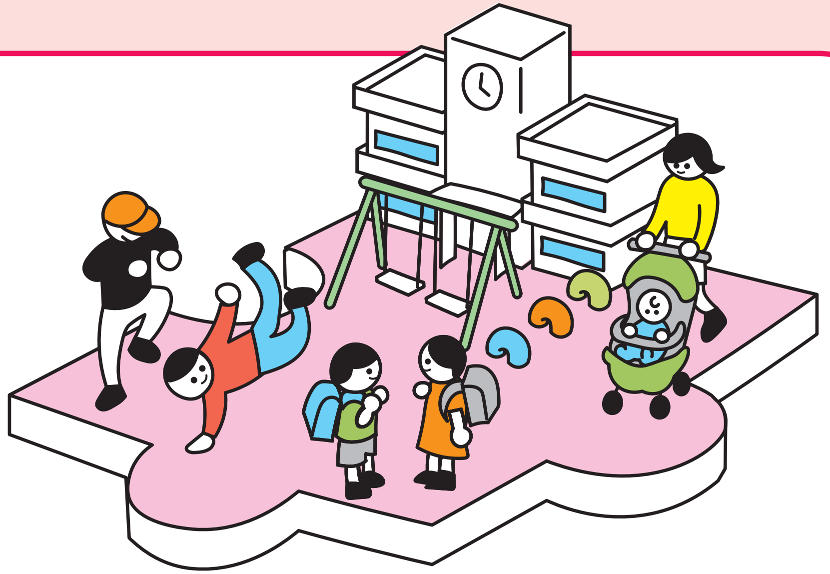
Ⅳ シティプロモーションの推進と関係人口の拡大

Ⅴ 移住・定住の促進

戦略に盛り込まれる主なキーワード

＃観光　＃インバウンド　＃芸術文化　＃中心市街地　＃トップスポーツ　＃関係人口　＃ふるさと納税
＃移住・定住　＃シティプロモーション　＃まちへの愛着

戦略3 こども・若者の希望が叶うまちをつくる



戦略が目指すもの

- こどもを安心して生み育てられる環境の実現
- すべてのこどもや若者が幸福な生活を送ることができる環境の実現
- 若者が意欲と能力をいかすことができ、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちの実現

戦略の数値目標

本市で子育てを開始した世帯数

〈令和6年度〉1,245世帯 → 〈令和12年度〉1,051世帯

減少に歯止め

重点プログラム（実現のための方策）

Ⅰ 安心してこどもを生み育てられる細やかな支援

Ⅱ こどもが健やかに育つ環境の整備

Ⅲ 若者の希望と挑戦を応援するまちの推進

戦略に盛り込まれる主なキーワード

＃子育て世帯の経済的支援　＃出産　＃共働き　＃こどもの遊び場　＃放課後児童対策　＃不登校児童生徒への支援　＃出会いや結婚　＃若者応援　＃大学生が主役となるまちづくり　＃住み続けたい・帰ってきたいまち

戦略4

誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる

戦略が目指すもの

- 市民の幸せと活力の基盤となる将来にわたる健康長寿の実現
- 高齢者が輝ける地域社会の実現

戦略の数値目標

市民の健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）	〈令和5年〉	〈令和10年〉
	男79.36年（平均寿命80.72年） 女83.81年（平均寿命86.75年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

重点プログラム（実現のための方策）

Ⅰ 生涯を通じた健康づくりの推進

Ⅱ 高齢者が活躍できる場の充実と生きがいづくりの推進

Ⅲ 多様な生活支援サービスを利用できる地域づくりの推進

戦略に盛り込まれる主なキーワード

#福祉　#健康づくり　#フレイル予防　#自殺対策　#社会の支え手　#地域で支えあう　#地域包括ケア　#認知症サポーター　#障がい者にやさしい共生社会

プラスの循環（じゅんかん）戦略

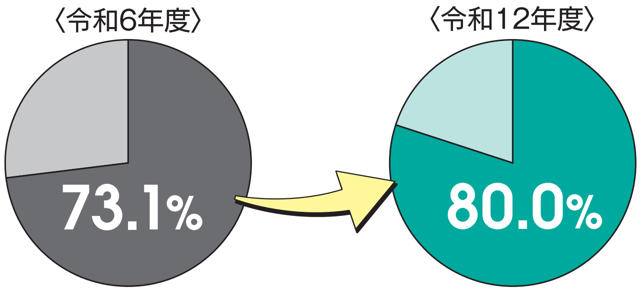
戦略5 災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる

戦略が目指すもの

- 災害に強いまちの実現
- 誰もが円滑に移動できる交通体系の実現
- 持続可能な循環型社会の実現

戦略の数値目標

本市に住み続けたい人の割合

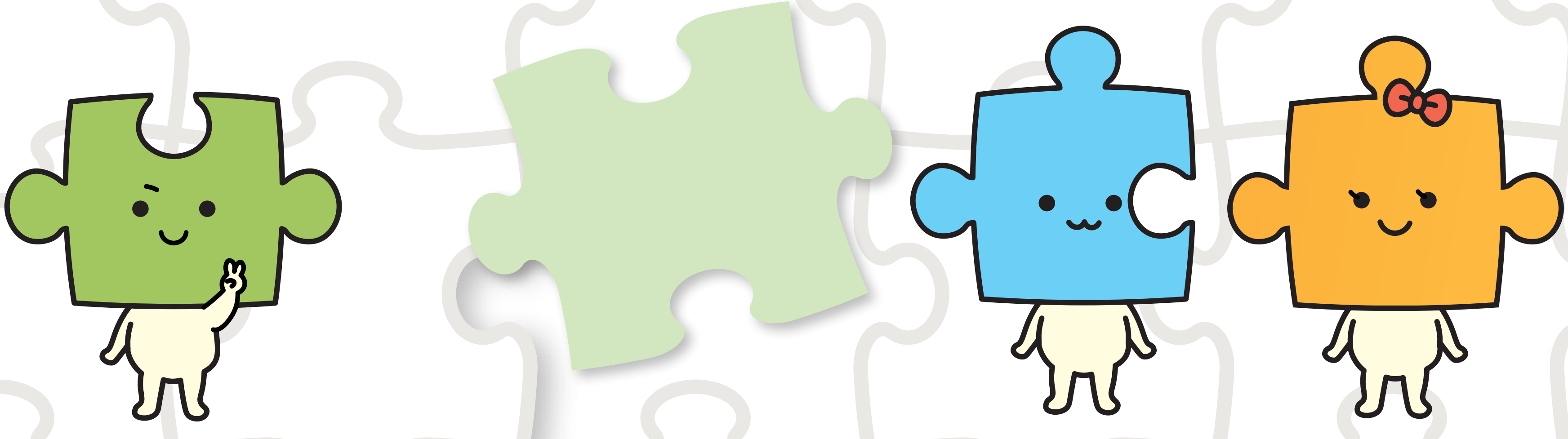


重点プログラム（実現のための方策）

- Ⅰ 災害に強いまちづくりの推進
- Ⅱ 将来にわたり持続可能な公共交通体系の構築
- Ⅲ 循環型社会の構築とゼロカーボンの推進

戦略に盛り込まれる主なキーワード

#減災・防災　#防災インフラ　#危険空き家　#クマ対策　#持続可能な公共交通　#エリア交通
#ごみ減量　#ゼロカーボン　#再生可能エネルギーの地産地活



このまちの主人公は、このまちで生きるあなた自身です。

思いを声にし、行動してみる。誰かの思いを受け止め、挑戦に耳を傾け、応援する。

そうした対話と行動、多様性（たようせい）と寛容性（かんようせい）の中で、

「共感（きょうかん）」できる仲間と出会い、「やってみよう」がつながっていく。

誰にとっても心地いい居場所がひろがっていく。

小さなこと、身近なことからでかまいません。

このガイドブックで知ったこと、感じたことを誰かに伝えてみましょう。

市民、地域、企業、そして行政が対話を重ねることが、

新たな価値を共に創る「共創（きょうそう）」の第一歩となります。

さあ、わたしたちで、響（ひび）きあい　心躍（こころおど）る　毎日を共に描いていきましょう。

秋田市『プラスの循環』プラン
【第15次秋田市総合計画】ガイドブック

［令和8年3月発行］

〈編集・発行〉秋田市企画財政部 企画調整課
（令和8年4月から、秋田市企画政策部 企画政策課）
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

〈印刷・製本〉株式会社アートシステム
〒010-0951 秋田市山王五丁目15番33号

『第15次秋田市総合計画』【基本構想】では、
詳細内容をご覧いただけます。 右の二次元コードから

THE 15TH, AKITA CITY GENERAL PLAN